

川北音頭

一 ハアゝ

春が来たよとさえずるひばり
お山雪どけ手取の水で
育つ若あゆ意気のよさ
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ水の里

五 ハアゝ

四季の名物数々あれど
メロン いちじく しいたけ キウイ
汗と涙の味がする
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ幸の里

二 ハアゝ

夏の火まつり御霊に捧ぐ
ひびく太鼓は男の自慢
灯るかがり火誰しのぶ
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ情里

六 ハアゝ

白い湯けむりいで湯の香
手足伸ばしてひと風呂浴びりや
今日も健やか町繁盛
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこお湯の里

三 ハアゝ

秋を色どるなでしこ可愛い
揺れる稲穂も黄金の色に
明日は刈り入れ陽もよいし
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ米の里

七 ハアゝ

ひとつ唄いや川北音頭
老いも若きも手拍子打てば
緑の大地に花が咲く
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ未来の里

四 ハアゝ

冬の紙すき寒さが辛い
かじむ手と手に息吹きかけて
伝統女のやさしさよ
おらがふるさと川北町は
ほんによいとこ和紙の里

ソレ

ソレ

ソレ

ソレ

ソレ

ソレ